arc communications

アークコミュニケーションズがお届けするニュースレター

funNOTE

october2009 vol.6

特集 1：CI を新しくプロジェクト

アークコミュニケーションズ 5 年目の VI 変更

communication

サービス：CASEstudy

#01 ドキュメントソリューションサービス

#02 セールスプロモーション企画・制作

#03 大規模・短納期に対応可能な翻訳体制（IFRS）

お問い合わせご相談は、お電話または
E メールでお気軽にどうぞ

03-5730-6133
arc-c@arc-c.jp

Service Lineup

多言語翻訳 | 通　訳 | ローカリゼーション | DTP/ 印刷
人材派遣 | 人材紹介 | Web サイト企画・構築 | グラフィックデザイン

www.arc-c.jp

Corporate Identity

[CIを新しくプロジェクト]

new VI

arc communications

new logo

「たおやかに、格調高く、きめ細かいサービスを提供し、社会に貢献する会社を作りたい」という想いで
アークコミュニケーションズを設立し、5年目を迎えました。
そこで、アークがお客様に提供すべきサービスとは何か、会社のバリューをしっかり示せているかを見つめ直したいと思い、
私たちのあるべきCI(Corporate Identity)についてスタッフと一緒に再考しました。
目指すは、社名が示す「Accurate（的確）でReliable（信頼性高く）でCooperative（お客様と一緒に作る）なサービス」の実践。
私たちの決意をカタチにすべく、VI（Visual Identity）であるロゴを変更することになりましたので、その制作プロセスとともにご紹介します。

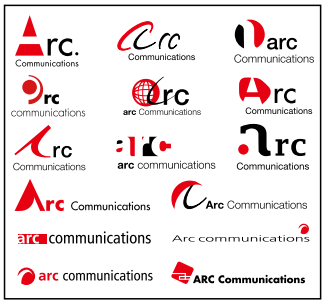
process

STEP 01 ブランドの整理

「アークって何?」を整理するところからCIを開始。自社ブランドを語る様々な表現を集約、整理し、「グローバル・信頼感・的確・クリエイティビティ・ソリューション・プロアクティブ・プロフェッショナル」等のキーワードの位置づけを確認しつつ方向性を固めます。性格の違う事業を複数運営しているため、一つのイメージで語ることが最も難しい作業。

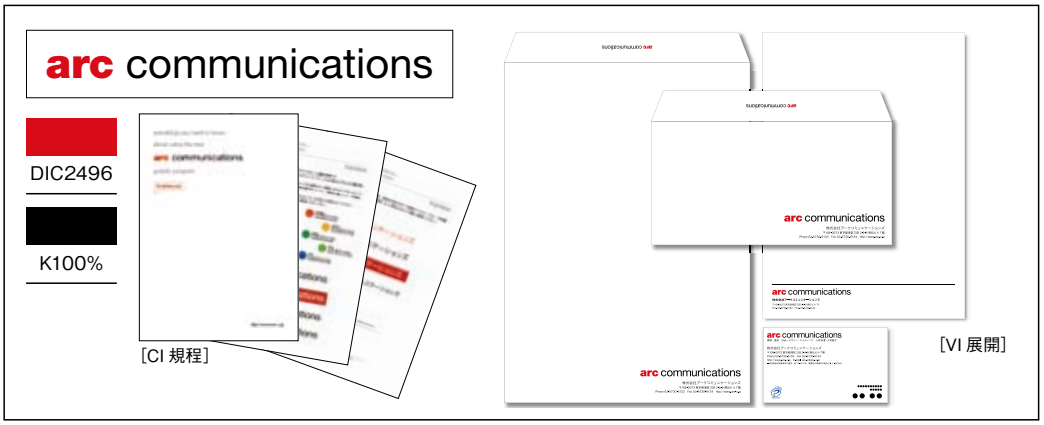
STEP 02 デザインイメージの制作

コーポレートカラーの変更は影響が大きいので、エコの観点からも変更せず。しなやかさを表現するために線が細い旧ロゴに対し、常に新しさを求める先進性とソリューションを生み出すクリエイティビティを、揺るぎない普遍性で提供する、そんなコンセプトを基にデザイン。



STEP 03 決定

ロゴの使い勝手の観点からも熟考。Webや紙上での見え方はもちろんのこと、ノベルティへの利用などの展開を考え、シンボルデザインなしの長方形型のロゴタイプでシンプルなものに。コーポレートカラーの赤も、エネルギーの赤、日本の赤がディスプレイや紙上でどう見えるかを考慮し、DIC2496に決定。



社内の英知と腕を最大限に集めて、ようやくロゴを公開することができました。
さまざまな想いを結集したロゴですので、それを忘れず、これからもアークコミュニケーションズらしいサービスを提供していきたいと思っています。

ぜひ、ご相談ください。
CI・VIについては、サービスとしてご提供もしております。
翻訳・Web・派遣に限らず、Graphic Designにお困りの際には、ぜひ声をおかけください。

ノベルティープレゼント

CIリニューアルを記念して、抽選で10名様に、
iPod Shuffleをプレゼントいたします。

詳しくは http://www.arc-c.jp/stationarypresent/

サービス：

CASE study

最新のアークコミュニケーションズの制作事例をご紹介します。

#01 マニュアルデータのワンソース・マルチユース化プロジェクト

ドキュメントソリューションサービス

中小企業や個人向け会計ソフトで有名な弥生株式会社（**http://www.yayoi-kk.co.jp**）のマニュアルデータのワンソース・マルチユース化プロジェクトのサポートを、今回アークが行いました。
『弥生会計』は、毎年 12 月に新バージョンが発表されます。その都度発生するのは、膨大な量の、マニュアルやオンラインヘルプのバージョンアップ作業。弥生株式会社では、このバージョンアップ時の省力化と、マニュアル発展のため、「データ一元化プロジェクト」に着手することとなりました。
まずは、オンラインヘルプのデータを既存の FrameMaker のマニュアルデータに変換統合、統合されたデータから複数のマニュアルを抽出するための判別用のタグ付け作業（コンディショナル機能対応）を受託し、約 5000 ページの作業を 3 ヶ月で対応することができました。この後のテクニカルライティング業務や、テスティング業務では、派遣という形でのサポートも行っております。
このような、マニュアルとオンラインヘルプのデータ共有、また Web とカタログやパンフレットのデータ共有などの作業をご検討の際には、ぜひ一度アークまでご相談ください。

#02 Web サイト～パンフレットまで一手に制作

セールスプロモーション企画・制作

総合商社の物流部門として幅広いソリューションを展開する双日ロジスティクス株式会社の会社案内を、アークコミュニケーションズが制作することになりました。まずは、ソリューションが多岐に渡ることや、お客様毎に必要とするソリューションが異なることに注目し、さらに自社ビジネスの表現を統一できるような企画をご提案。
その後、会社案内の英語版制作、Web 制作などに展開し、コンサルティング・デザイン・執筆・印刷などに加えて、多言語翻訳・Web 制作まで行いました。ワンソースマルチユースをワンストップで実現するアークコミュニケーションズの強みを最大限に生かし、お客様のコストと手間の軽減を実現することができました。今後はメディア戦略のサポートも行っていく予定です。

#03 国際財務報告基準（IFRS）はお任せください

大規模・短納期に対応可能な翻訳体制

IFRS は、2005 年に導入した EU をはじめ、現在では世界で 100 以上の国や地域で導入、あるいは一部導入されています。日本でも新聞、雑誌等で IFRS という言葉を目にする機会が増え、IFRS 移行への準備が着々と進んでいるように思われます。アークでは約 2 年前より IFRS 関連翻訳の準備を進め、独自の用語集等資料の作成、CPA 保持者など専門的知識を有する翻訳者の開拓と育成などに努め、大規模、短納期などさまざまなご依頼に対応出来る制作体制を構築。50 万ワードの文書を 3 ヶ月（翻訳者 10 名体制）で翻訳した案件を始め多くの実績を積み、大手監査法人・ビジネススクールなどから高く評価していただけました。今後もさらなる体制強化を行い、柔軟に対応していきたいと考えております。

NEWS

各種雑誌に掲載されました。

その 1 年を振り返ると、その年それぞれの特色というものがあります。今期のアークコミュニケーションズは、様々な雑誌にとりあげられた一年だと言えそうです。翻訳関連の雑誌では、アークの翻訳コーディネーターの 1 日を取材した記事が掲載されたり、AERA English で翻訳者が紹介されたり、また、社長・大里のライフスタイルは、プレシャスや AERA 本誌でも取り上げられました。

EDITOR'S NOTE
さよなら、旧ロゴ

「ロゴが使われているマテリアルを全部挙げてみて！」こんな依頼をされた総務担当は、きっと誰でも気が遠くなるでしょう。これを実践した私は、会社という場所は、あらゆるところにロゴがあふれているのだなと、まざまざと思い知らされました。新しい物を作る前に、旧ロゴ用品をなるべく廃棄しないよう、計画的にノベルティや封筒などをどんどん使うキャンペーンを行うなど、エコの観点からもかなり今回の経験は貴重なものとなりました。これを何かに活かしていければ、と思っています。新しいロゴとともに、気分も新たになったアークコミュニケーションズ。どうぞよろしくお願いいたします。（Kato）

This issue's **theme**

今回のニュースレターのテーマは、CI。それにちなんで「私」をアピールしてもらいました。

「私といえば○○です」

●代表取締役社長

「元気」はすべての源

「楽しいこと・新しいこと・正しいこと」をしたいと常々思っていますが、私には「元気」があるから、挑戦できます！あっ、除く育児？？エネルギー準位が向こうのほうが高いもんで、どうも分が悪く…（大里 真理子）

●翻訳 / ローカリゼーション事業部

水筒を持ってる人

普段水筒に飲み物を入れて持ち歩いている人の事が話題になっていると、最近知りました。自分が世間では「水筒男子」というんだ…と知り少々微妙ですが、少しでもエコの為に役立てればまあいいかなと思います。（伊藤 昌徳）

バックパックじゃない一人旅大好き

しかし。南米からの帰国時では離陸 20 分前のチェックインで、「もう無理です、ご婦人」と言われ。カナダからの帰国時「あなたのフライトは昨日でした」と言われ。無事にちゃんと帰ってこられるから不思議です。まぁ、そんな“ピンチ切り抜け術”がいつか活きることを信じて。（齊藤 まなみ）

私といえば、両手利きです

とはいえ、左手を使うのは書く時だけです。それ以外は（お箸、スポーツなど）全部右手です。お箸で食べながら、文字を書く機会は今までなかったけれど、そんな場面にでくわしたら挑戦してみようと思います。（ジャスティン シュアード）

私といえば、新しいもの好きです

新製品に限らず、それが珍しいものだったり、変わったもの、不思議なものだったりすると、血が騒ぎ、とりあえず試してみなければ気が済まなくなってしまいます。毎日新しいもののウォッチは欠かせません。（馬場 浩昭）

主夫になります

第二子が 11 月に生まれます。そして来年 1 年私が育児休暇を取得します。社長に試しにねじ込んだら成功しました。現場を離れるのは心苦しいですが、関係者の皆様に感謝しつつ家族に養ってもらえる生活を満喫します。（星 享秀）

私といえば、散歩です

父が心筋梗塞に倒れたのを期に、健康のため毎日一万歩を目指し散歩を始めました。桜の季節には舞い散る花びらを愛で、真夏には汗をかく爽快さを楽しみ、10 年間が経ちました。毎日の昼休み、iPod を片手に歩いています。（細江 和夫）

私といえば、趣味のデパートです

ご存知のワインとビール工房に嵌っていますが、自然薯、巨峰も栽培・収穫中です。通年では、クランベリー、茗荷、アシタバ、島ラッキョ等々、昔は椎茸栽培も。ワイン用の山葡萄と日仏交配種葡萄の育成中で、来夏は大収穫の期待です。海釣りは休眠中ですが、数年後はボートで海が夢です。（本田 和利）

私といえば牛乳です

そのまま味わっても美味しいけれど、コーヒーに加えればマイルドに、シチューに入れればなめらかに、シリアルにかければふにゃふにゃに！？相手を引き立て、そしてちょいとベツモノにする存在でありたいな～（宮城 任子）

私といえば、ポロシャツです

春夏秋は半袖のポロシャツを堪能し、冬は長袖のポロシャツを満喫するというポロシャツ熱狂者であり、多様な色彩を用意してその配色に留意するというポロシャツ酔狂者でもあります。誰ッ？！と顔を思い浮かべるだけで、「あぁ、あのポロシャツ野郎ね」と思ってもらえてるかなァ？？（山本 康之）

● Web& クロスメディア事業部

代名詞

迅速、誠実な仕事を目指して努力しております。いつかこれらの言葉が、自身の代名詞として使えるようになれれば、と思っています。（岩田 祥子）

汚名返上

海野の机といえば汚い。この汚名を返上すべく、先日大リニューアルを実施しました。効果は絶大。仕事もはかどり、人にも優しくなりましたとさ。（海野 智之）

私といえば、ヒゲ（でありたい）

23 歳からこのスタイルで早 13 年。ヒゲの無い顔はもう自分でも想像できません。デザイナー始めてから、このスタイル。多分、一生このスタイルを貫くんだろうな…ヒゲと言えば、俺。お腹という説が有力ですが…（小川 五壱）

私であることの証明

自分が自分であることを証明するもの、運転免許証。身分証明書としてしか使用しないまま、二度目の更新が近づいています。サヨナラの前に一度くらいは、本来の役割をさせてやりたい今日この頃です。（小野 研太郎）

私といえば、変わってます

ってよく言われます。日本ではネガティブなイメージですが、クリエイティブ職は独特な発想力が必要なので、むしろ個性的な方がすごくいいモノが作れたりします。話題になるサイトってオリジナリティのあるサイトが多いですから。（児玉 みすず）

私とばかりはいえない話

使いやすさをつきつめるとマイナーなモノになってしまう私。トラックボールしかり、リーガルパッドしかり…。そんな自分が好きだったりしたのですが、最近社内を見渡すと、どちらも私以上のヘビーユーザーが！私といえば…とはもう言えなくなりました。（佐藤 佳弘）

私といえば、「黒い」です

…よね。最近うっかり海釣りに嵌ってしまい、堤防通いで真っ黒に。決して元から黒い訳ではないんですが、まあ新しく入った黒いのと覚えてください。もっぱら小魚ですが釣った鰯で自家アンチョビとか最高でした。（柴田 真一郎）

私といえば、クレカかな

通称クレオタでございます。といってもただただクレジットカードを集めるのではなく、特定のプロパーカードを使って育てランクを上げていきます。マイルやポイントにも強いのでもし質問等ありましたらぜひ！（鈴木 公尚）

紛らわしい名字

自分の名字が紛らわしくていけません。「弊社の中が対応します」とか "てにをは" を間違ってる文章にしか見えなかったりもするし、いっそビジネス上では『中村』とか名乗った方が紛らわしくなかったんですかねぇ。（中 秋則）

●人材派遣事業部

私といえばコーディネーター@派遣チーム！

多くの登録者さんと会います。職務内容を伺うのはもちろんですが、どんな人生を送ってきたのか、ちらっと垣間見る時間でもあります。様々な人生のストーリーに出会え、最近は聞き上手になったような…^^　お仕事のたな卸ししたい方はぜひ！（北村 郁美）

ど忘れしたら、私に聞いてね

人の顔と名前を覚えるのが得意です。外見からはわかりにくい性質ですが、初対面の人にも気軽に話しかけ、結果、気さくな人と思ってもらえるなど、「ふるまい」や性格にはしっかり現れているようです。覚えるコツは…瞬時に感想を持つこと、です！（齋藤 愛）

おっちょこちょい

社会人1年生の頃、ゴミ箱に足をつっこんで転ぶ度、先輩に「どーやったらそんなことができるの！」と叱られていました。大人になって、ずいぶん落ち着いたなぁと思うこの頃。でも旦那には「サザエさん」と呼ばれています。家では何してるんだろう？？(佐々木 由美子)

私といえば、仏像大好き

仏像が好き。特に天平時代の物が好き。何故といわれると困るのですが、仏像が好き。塑像・乾漆像・木彫像…癒されます。奈良に住みたい…、坊主になりたい…。心安く生きていきたいのです。（山口 能由）

私といえば、白い髪の毛です

メーカーに勤めていた頃のこと。さほど白くなかった 20 代、警備員さんはいつもかかとを揃えて敬礼してくれました。白さに貫禄が出てきた 30 代、電車の中で女子学生が優先席を譲ってくれました。人生の一部です。（渡邉 宏）

●経営管理室

かな入力

今や絶滅危惧種のかな入力者である私は、一味違うタイプミスをします。「ございまする」って、いきなり侍になったり、「それでね」って急に馴れ馴れしくなったり。いずれも「。」「、」のシフト押しが甘いために出るミスなのでした。（加藤 満）

私といえば、スポーツおたくです

スポーツ Watch をこよなく愛する私。Play は現役引退した私ですが、五輪、W 杯といった世界大会の際は、寝る間を惜しみ TV の前で大興奮！！ 2010 年 W 杯で活躍するサムライブルーたちが今から楽しみです。（清宮 和宏）

arc communications

〒 108-0073

東京都港区三田 3-9-9　森伝ビル 7F

Phone 03-5730-6133　Fax 03-5730-6134

http://www.arc-c.jp　arc-c@arc-c.jp